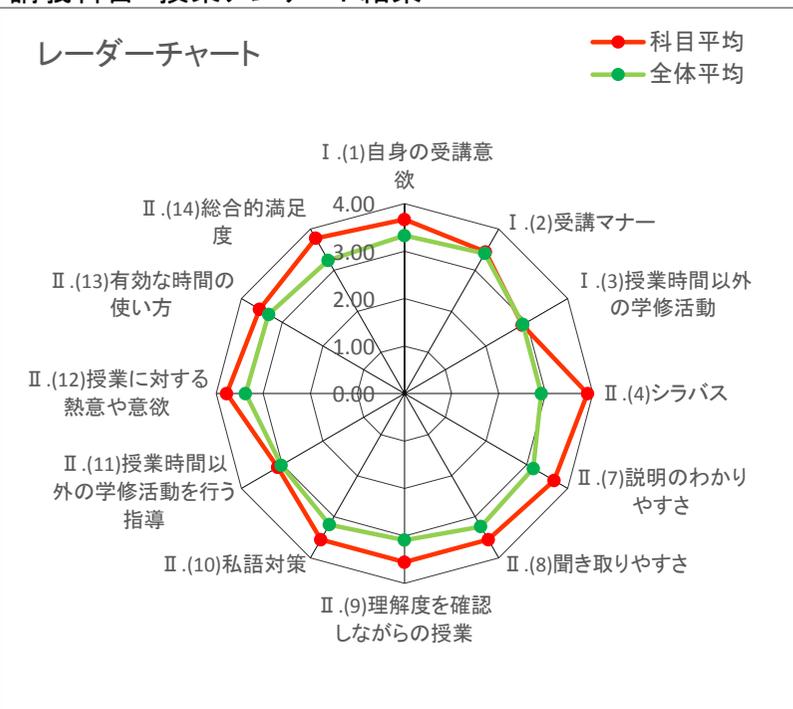
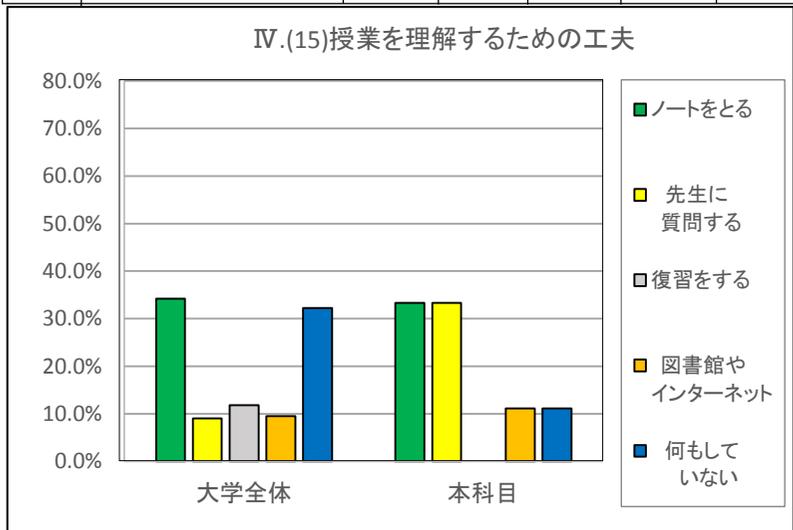


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	33.3%	33.3%	0.0%	11.1%	11.1%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	51307
科目名	日本人の労働を考える
教員名	

①授業計画の達成度について
 シラバスとの関係では4点満点で3.9であるのでほぼ満点と考えてよい。私自身はそれほど意識していなかったが、シラバスと関連付けて授業を受けてくれたということであろう。難易度については難易度が高いと受けとめた学生がほぼ学内平均であるのに対して、難易度が低いと感じた学生が明らかに多かったと言える。内容的には決して簡単な内容ではなかったもので、設問7, 8, 9の回答と照らし合わせれば、十分に理解できたということかもしれない。来年度は本講義も最後となるので、少し難易度を上げて、法律のことなども突っ込んで解説してみたい。

②授業の進め方について
 説明のわかりやすさ、聞き取りやすさ、は例年通り平均を有意に上回っている。本年度特に気をつけた、理解度を確認しながら授業をするという点について9割近い学生がそのように受け取ってくれたことは嬉しい。例年私語対策が気になるところで有るが、本年度はグループワークを取り入れたことなどにより、学生の集中度が上がり、そもそも私語がなかったと言える。(11)の授業時間外の指導については大学平均を上回っているとはいえ、他の項目と比較すれば高くない。共通教育科目という位置づけではあるが、適切な授業時間外の学習について指導をしていきたい。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 本年度の特徴は授業を理解するための工夫として、教員に質問するという項目が大学平均の3倍以上と、ぬきんで高いことである。これはここ何年か取り組んできたアクティブラーニングを組み込んだ授業のやり方に、私自身が習熟してきたことにあると思われる。私の担当する講義も来年度はこれが最後になる。9割以上の学生が満足している状態を維持しつつ、より高度な内容を平易に伝えることに挑戦したい。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.67	3.33
	I.(2)	3.44	3.41
	I.(3)	2.89	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.89	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.67	3.16
	II.(8)	3.56	3.24
	II.(9)	3.56	3.09
	II.(10)	3.56	3.19
	II.(11)	3.11	3.03
	II.(12)	3.78	3.38
	II.(13)	3.56	3.33
満足度	II.(14)	3.78	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.33	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.58	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.78	3.24
III.(14)		